

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 黒須一夫
幹事 大口弘和
会報委員長 秋山茂則

No.32

ロータリーを楽しもう!
ENJOY ROTARY!

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第374回例会 平成2年2月27日(火) 晴

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 61名 出席47名

出席率 75.81%

前回 2月19日 (修正出席率) 100%

◇ビジター紹介

京都洛東RC 宮下 晃一君 他5名

◇お誕生日祝福

新美夫人(2/28)、谷口夫人(3/1)

白井夫人(3/2)

◇ニコボックス

豊田RC 山内 一生君 久しぶりにお邪魔
いたしました。

中山 信夫君 22日行なわれましたゴルフ会
当クラブで優勝することが出来ました。

加藤 正義君 合併説明座談会の為、早引致
します。

黒須 一夫君 2月19日(月)の4RC合同例
会には大ぜいお集まり頂き有難うございます。

鈴木 理之君 松楓閣でのT.B会では松居君
佐久間君ご協力ありがとうございました。

林 淳三君 タイでW.C.S活動に参加しました。

竹内 真三君 林君W.C.S参加ご苦労様で
した。お疲れ様

白井 基久君 本日より新入会員となります
よろしくお願ひ致します。

小坂井 盛雄君 4RC合同ゴルフコンペ楽
しみに致して居りましたが、よんどころない
所用の為欠席しご迷惑をおかけしました。

菅原 宣彦君 親愛なる山内一生先生ようこ
そ、昨日はホールイン・ワンおめでとうござ
います。

浅井 誠寿君、吉田 節美君 結婚記念日祝い。

◇大口幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いた

します。理事役員の方は2F橋の間に
お集まり下さい。

◇新入会員紹介



| | |
|------|--|
| 氏名 | 白井 基久 君 |
| 生年月日 | 昭和10年1月15日 |
| 事業所 | 日産サニー中部販売(株) 千種区吹上1-4-1 TEL 741-5428 |
| 地位 | 代表取締役 |
| 自宅 | 昭和区鶴舞4-13-25 TEL 741-2481 |
| 推薦者 | 水野 民夫 |
| 職業分類 | 自動車販売 |
| 委員会 | 親睦活動 |

◇林君タイ奉仕活動視察旅行報告

チャンパークは大変貧しい村でRCの例会
も青空の中机が1つ、イスが20ヶ位の簡素な
中で、ロータリアンの方々はチェンマイの教
員養生大学等と協力し公衆衛生、大豆の栽培
等援助をし継続的に行っているのですが今後
の活動に対して熱心に話しておられる現場を
見て、ロータリーの原点を見たようで大変感
銘致しました。又、当クラブでお世話して
おりましたリムサク君が迎えて案内してくれ
ましたのでご報告させていただきます。

◇盛田ガバナーより委嘱状披露

深見 章君 1990～'91年度
財団学友会小委員会委員長

◇黒須会長挨拶

“極東国際軍事裁判(2)” B. C級戦犯

戦後、日本は戦犯問題には余り深入りせず、極東国際軍事裁判(A級東京裁判)のみが伝えられた傾向にあります。

戦争犯罪の名で処刑(ほとんどが絞首刑)された人数はA級戦犯者7名ですが、病死7名計14名で、悲劇的なのはB. C級戦犯でした。B. C級戦犯刑死者は山下泰文大将をはじめ、901名、獄中病死、自決などを含めると1054名の多さにのぼっております。

スガモブリズンのみでも処刑になったA. B. C級戦犯の日本人は60名、病死、自殺を含めると100名であります。

私の仲のよい友人も捕虜収容所の所長として捕虜虐待の罪で死刑判決のち減刑、7年後に出所しましたが、海の向こうで国民の目も届かぬところで、全く形式的な裁判で死刑になった戦友が多い。この汚名を背負って死んでいった戦友の気持ち、遺族の気持ちがたまらないと語っております。

これらB. C級の戦犯に対する裁判は、復讐的な性格が非常に強くでていました。

B. C級は初めて、20年12月17日に横浜地裁で開かれ、海外ではマニラ、シンガポールはじめ51カ所に軍事法廷が設置され、被告は1万人にのぼりました。

マニラの軍事法廷では山下泰文元大将、本間中将がそれぞれ絞首刑、銃殺刑で処刑されています。この他、下級兵士にいたるまで、犯罪行為が訴追され、いづれも異例の早さで判決が下されています。

海外での裁判は手続が不十分であり、証拠もあいまい、ろくに弁護の機会もあたえられず、正確な通訳もない状態で、公判期間は2日間、民衆の前にさらされ判決即ち処刑というケースが多くありました。残虐行為が行なわれた後に着任した上官が、その責任を問われた例もありました。

全くの報復裁判劇に属するものや冤罪の例は数知れません。

フィリピンで敗北し、命からがら脱出したマッカーサーは復讐に燃えていて、軍服を禁じ、カーキ色のシャツ、ズボン姿の作業服、作業帽で処刑しました。処刑の方法の中で欧米では絞首刑が一番恥すべきものとされています。連合国側はあえて、A級戦犯らに報復として銃殺刑ではなく、絞首刑を選び、軍服

をとり去って恥かshめて処刑しました。これは、ニュルンベルク裁判でナチスのケーリング元師が絞首刑を拒否し、軍人として銃殺刑を望み、絞首刑の2時間前に服毒自殺したことも明らかです。

私は天下分け目の関ヶ原の合戦(1600年)で敗れた西軍の石田三成らが京都市街を引き回され、六條河原で斬首された350年前と何ら変わっていないと痛感しました。

東京裁判は新たな国際法の概念を確立し、「戦争を裁く」という立派な法概念も裁くもの手が汚れており、その後の国際紛争にその意志が実現された例はないと思います。

換言すれば、文明とか裁判とかいう美名をかりた戦勝国の論理を敗戦国におしつけ、A級裁判、B. C級裁判は勝者の敗者に対する報復以外の何物でもありません。

裁判という名に値しない最悪の裁判であると考えているのは私だけではありません。

ただ、インドのパール判事が戦勝者が一方的に決めた犯罪の定義によって、裁判を行うのは、敗戦者を即時殺りくした昔と現代との間の数世紀にわたる文明を抹殺するものだと述べ、被告全員の無罪釈放を主張したが、少数意見でありました。

今なお、この勝者の論理を持ちつづけている巨大国があることは、悲しむべきことでもあります。一方、ドイツのように日本人自身が戦犯をさばくことが出来なかったことは残念に思います。

加えて、アメリカ大統領の命令による原爆投下の謝罪ははまだ聞いていません。日本人はユダヤ人あるいは中国人のように歴史的事実を永く記憶にとどめ、語り継ぐことが必要であり、先人の悲惨な歴史を安易に忘れ去ってはならないと思います。

◇講演

“私の建築雑感”

会員 石黒 正則 君



平安元年5月16日に、宮尾紘司氏の御紹介により、千種ロータリークラブに入会をさせていただきます。有難うございます。

今后は、諸先輩方の御指導を承り、地域社会への奉仕、同じく理想を抱く人々との親交を深めさせていただきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

今日は、“私の建築雑感”と云う事でお話させていただきますが、最初ですので、私の紹介と、仕事の経験の中から、建築についてお話させていただきたいと思ひます。

諸先輩方の前で、少々緊張しております。お酒が入っている時の様に行きませんので、お聞き苦しい点があるかと思ひますが、しばらく御付き合い下さい。

私がこの進路を選びましたのは、私の母方の祖母が大工の棟梁（今年94才）であった影響で、私は建築の道を洗濯しました。昭和45年 法政大学を卒業後、東京の設計事務所に勤め、昭和52年に名古屋に帰り独立、今の会社、アズテックを設立いたしました。

その後、12年間、医院の開業のお手伝いを中心に設計事務所の専門化を目指し、明るい診療所創りを、一宮、名古屋、三重県に於て、ひとつづつ、手懸けて来ました。その中で、今から7年程前、3年間の企画会議を進める中で、スポーツ、飲食、複合型のシティホテルを松阪駅西に、3年前完成する事が出来ました。私の仕事にとって、これは、大きな節目になりました。設計条件は、松阪の駅の西、歩いて3分程の1000坪の土地の有効利用の企画提案から始めました。最初はビジネスホテル案、ショッピングセンター、オフィスビルなど、色々な提案があり、オーナーの方も迷われましたが、“この町の活性化のためにも、今一番、役立つのは、本格的シティホテルの建設である。”を基本コンセプトにした企画提案が実り、やっと実施計画に移りました。その後は、無我夢中で、毎日徹夜の作業の連続でした。それも、オープンして今年で3年、経営も順調の様子ですが、今思うと、あの時のオーナーの決断には、敬服致します。

その後、平成元年3月に、東京の本郷に、みらい総合開発研究所を設立、都市計画、商環境計画、建築計画の三つの分野の専門家から成る三つのラインから“みらい”を命名、設立しました。再開発、ショッピングセンター、街づくりをテーマに丁度設立一年になります。

今こそ、社会が大きく変わる中で、環境づくりの視点から、立脚した街づくりが進めら

れるべきだと思う。昨年名古屋のデザイン博に於ても（問題は色々ありますが）名古屋の街並が、おしゃれになった感じがします。しかし、反面地価の高騰に伴って、土地の値段だけが一人歩きし始めています。実に残念な事です。今や建築なんて、土地の値段に比べたくづみたいなものと言われる時代です。今后、都市化の進み中で、時代は、大きな矛盾につきあたろうとしています。名古屋の今後の街づくりに、役立てる研修を今后、積重ねていく熱意で、頑張っけてゆくつもりですので、今后共当社をよろしくお願い致します。

今日は、どうもありがとうございました。

第61回ゴルフ会成績

(藤岡C.C. 2/22(木))

| RANK | NAME | OUT | IN | G | H'cp | NET |
|------|-------|-----|----|-----|------|-----|
| 優勝 | 中山 信夫 | 39 | 44 | 83 | 13 | 70 |
| 準優勝 | 松居 敬二 | 39 | 42 | 81 | 9 | 72 |
| 3位 | 安江 敏昌 | 50 | 42 | 92 | 18 | 74 |
| B B | 水野 賀統 | 57 | 54 | 111 | 12 | 99 |

(参加者 18名)

当日は今年度より実施いたしました第1回4RC合同ゴルフ会でもありベテランの中に入り緊張をしたのプレー開始でしたが、大変穏やかな天気の下、勝敗はともかくいい汗をかいて楽しい一日となりました。

◇ロータリー財団奨学生 竹下 鈴鹿 さん

お手紙紹介

拝啓 昨年中は、いろいろとお世話になりましたのに、ご挨拶がおくれてたいへん失礼致しました。遅ればせながら、大学のことや、こちら米国オレゴン州ユージーンの生活のことなど、できるかぎりお伝えしたいと思います。

留学生活の報告ともうしましても、学生の生活は勉強が中心にならざるを得ません。また、こちらの大学の勉強の要求の厳しさというのは、日本でもよく知られていることですが、実際に大学院クラスの授業に参加してみると、やはりその課題の量や、テストのきびしさには驚かされます。なんとか勉強以外のことでも、いろいろと経験してみたいと思っけていても、すこし油断していると、あっというまに落第点がついてしまいます。お世話になって勉強しているわけですから緊張しないわけにはいきません。しかし、そのアメリカの大学の緊張感というのは、多少日本の大学とは違っていて、なかなか感銘を受けることも多いのです。もちろん私は一度大学を卒業して社会にでてから、また大学院に入りなお

したので、自分自身の勉強にたいする考えも違っていますから、単純に二つの国の学校一般や学生気質を比較することはできないでしょう。しかし、ひとつ言えることは、ここでは私のように、職業経験のある大学院生というのが、かなりの多数派であり、それは授業にも学生の意欲にもかなり強く影響しているということです。私のいるINTERNATIONAL STUDIESというのは、国際関係についてのプログラムですが、国連の関係機関やNGO（いわゆる民間の援助団体）で働いていて、それから自分の専門をもっと深めるために大学院にきたという人も何人かいます。そういう人たちと一緒に学べるということじたい、日本では、なかなか望みがたいことで、やはり未知の場所で学ぶということは、意義のあることだと思うわけです。

ここの、学生の多様性ということについて、もうひとつつけくわえるべき大切なことは、さまざまな国籍の人々が集まっているということ、つまりは国際性と言うことです。このオレゴン大学というのは、アメリカでも、どちらかといえば田舎のほうに入るとおもうオレゴン州の州立大学で、人口10万人くらいの小さな町ユージーンにあります。学生の約10%ちかくが外国人です。主にアジアからの学生が多く、日本人はかなりいます。インドネシア、タイ、シンガポール、台湾、中国といったところからの学生が多く、ヨーロッパやミドルイーストからも来ています。日本でも留学生はいますが、名古屋からこの小さなアメリカの田舎町にやってきて、いきなりこのマリティナショナルな共同体の一員になったときは、実に奇妙な気もしましたし、また感心もしました。そして、授業の厳しさとはまた別に、外国人学生のためのオリエンテーションや専門のスタッフの援助は、ほんとうにありがだかつたし、また、感銘も受けました。大学が制度として、外国人学生を勉強させることを予定してしっかりつくりあげられているわけです。そしてまた、アメリカの大学一般の解放的な性格とともに、オレゴンをふくめたノースウェストやカリフォルニアの太平洋諸州の太平洋にむかって、つまりはアジアにむかって、ひらかれた住民一般のリベラルな性格ということも、この大学での外国人の暮らしやすさとかかわっているのかもしれない。また私の関係しているINTERNATIONAL STUDIESや、そのほかの学部のスタッフが外国人の学生に対す

る理解がたいへんに深いということも、感謝すべきことだと思っています。

もうひとつつけくわえれば、こちらのユージーン・ロータリークラブに招待していただいて、会員のかたがたとお話しする機会があったときに、やはりこの国際性といったものに感銘を受けました。なにしろ、私のほかに、韓国、オーストラリア、英国、マン島、そしてソ連からの学生がいっしょだったからです。

こちらでは、ユージーンのロータリークラブのDr. Ghentというかたがロータリーアドバイザーになって下さいました。このかたは、オレゴン大学のINTERNATIONAL SERVICE（外国人学生の援助とアメリカ人学生の海外研修をあつまっているオフィスです）のDirector Emeritus（名誉室長とでもいうのでしょうか）でいらっっしゃいますが、私ともうひとりのロータリー奨学生にたいへん気を配って下さいます。

とりとめないお便りになってしまいました。このつぎには、もっと詳しくオレゴン大学のキャンパスのことなどもお伝えしたいと思います。

敬 具

平成2年2月16日

◇例会変更のお知らせ

- | | |
|---------|---|
| 名古屋南RC | 3/14 (水) F.S.M.の為、翠芳園にてPM5:30より |
| 名古屋東南RC | 3/15 (木) 職場例会の為、マドラス(隣)にてPM 12:00より3/22(木) 休会 |
| 名古屋大須RC | 3/15 (木) F.S.M.の為、名古屋クラウンホテルにてPM6:00より |
| 名古屋瑞穂RC | 3/22 (木) F.S.M.の為、熱田神宮会館にてPM6:00より |
| あまRC | 3/19 (月) 休会 |

今週の言葉

運、鈍、根

小山 雅弘

◇次回例会（3月6日）

クラブフォーラム（I.G.F報告）

◇次々回例会（3月13日）

講演 “ロータリーとは”

会員 水野 民也 君